

(様式1)

| | | | | | |
|----|---------------|------|----|-----|------------|
| 校種 | 小・中 どちらかに○ | 学校番号 | 63 | 学校名 | 宇都宮市立岡本小学校 |
|----|---------------|------|----|-----|------------|

令和7年度 学校経営計画

1 教育目標

(1) 基本目標

人間尊重の精神に基づき、一人一人の特性や能力を生かし、他者と協働できる、知・徳・体の調和のとれた児童を育成する。

(2) 具体目標

「自ら考え主体的に行動し、心豊かでたくましい児童の育成」

〈目指す児童像〉

○かしこく（進んで学ぶ子）

○やさしく（思いやりのある子）

○たくましく（元気でがんばる子）

2 学校経営の理念

- (1) 一人一人の児童をかけがえのない存在として大切にする。
- (2) 児童の安心と安全を最優先する。
- (3) 児童一人一人の良さや可能性を認め励まし、これからの時代をたくましく生き抜く力を育む。
- (4) 研修に励むとともに、互いに学び合い、専門性と人間性を高める。
- (5) 保護者や地域の方々と進んでコミュニケーションを図り連携を深める。

3 学校経営の方針

[河内地域学校園教育ビジョン]

すこやか河内 ～小中一貫教育を通して、子供たちの心身の健やかな成長を目指します～

- (1) 児童一人一人の個性・特性・教育的ニーズの理解に努めるとともに、その特性等応じた指導・支援について全職員による組織的な対応に努める。
- (2) 魅力にあふれ安心して過ごせる学校づくりに努めるとともに、交通安全教室や地震や不審者等を想定した実践的な避難訓練を通して、自身の安全を守るための判断力や実践力を育成する。
- (3) 特色ある教育活動と認め励ます教育を推進することを通して、知・徳・体の調和のとれた「生きる力」の育成に努める。
- (4) 学年やブロックを活用したOJTを充実するなど教職員の資質・能力の向上に努めるとともに、校内業務の適正化や勤務時間を意識した働き方の推進を図るなど、一層の働き方改革を推進する。
- (5) 魅力ある学校づくり地域協議会との連携や小中一貫教育・地域学校園の取組の推進に努めるとともに、家庭や地域とのつながりを深めながら教育活動を展開する。

4 教育課程編成の方針

社会の変化やSDGs等に係る現代的な諸課題に対応するため、生涯にわたって成長し続ける基盤となる知・徳・体の調和のとれた力を、児童の発達段階や特性、地域の教育環境、保護者や地域の願いなどを踏まえつつ、教科等横断的な視点で各教科等との関連を図りながら育成する。

<留意点>

- ・ 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進を図り、縦割り班活動や体験活動を通して、認め合い・励まし合い・協力し合える豊かな人間関係を構築するとともに、心のたくましさを涵養する。
- ・ 岡小タイム（ロング昼休み）での縦割り班活動や縦割り班清掃、異学年交流会などの児童会活動や学級活動の時間を確保し、児童の主体性を育む取組の充実を図る。
- ・ GIGAスクール構想の実現に向けて、1人1台端末を効果的に活用しながら、デジタル・シティズンシップ教育を推進し、情報活用能力の定着を図るための学習活動を計画的に実施する。
- ・ 魅力ある学校づくり地域協議会の意見や、学校マネジメントシステムアンケートの結果を、教育課程の編成に生かす

5 今年度の重点目標（「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○）

(1) 学校運営

教職員の資質・能力の向上と働き方改革の推進

- ・ 学年やブロックを活用したOJTの充実
- ・ 業務の効率化と勤務時間の適正化
- ・ 異年齢集団活動や地域資源の活用などの特色ある教育活動の推進

(2) 学習指導

主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の推進

- 「宇都宮モデル」を活用し、ねらいを明確にして、「書くこと」の指導の充実を図った、学び合う授業の創出
- ・ 「情報モラル/デジタル・シティズンシップ教育年間指導計画」に基づいた、動画やデジタルコンテンツの活用と、児童が自律的に責任をもち、互いに思いやりをもって利用するICT機器の積極的な活用
- ・ 「宮・未来キャリア・パスポート」を活用した将来の夢や目標をもたせるための取組の推進

(3) 児童生徒指導

認め励ます教育とたくましさを涵養する教育の充実

- 家庭や地域と連携した適切な言葉遣いと挨拶の励行
- ・ いじめゼロ集会や道徳科の授業等で、児童自らがいじめについて考え、意見を交わし、差別やいじめを許さない態度や思いやり・規範意識の醸成を図る指導・支援の充実
- ・ 教育相談やQ-Uの結果を活用した不登校の兆しの早期発見・早期対応と、不登校児童への個性・状況・教育的ニーズに応じた指導・支援の充実

(4) 健康（体力・保健・食育・安全）

体力の向上と危険予知・回避能力の育成

- 各種検定の実施や外遊びの奨励を通じた運動機会の創出
- ・ 保健教育に係る関係機関との連携の推進
- ・ 学校栄養士と学級担任等の連携の推進
- ・ 交通安全教室や地震・不審者などを想定した実践的な避難訓練の実施

6 学習指導、児童生徒指導、健康（体力・保健・食育・安全）に関する取組

※ 様式2～4参照

7 特色ある学校づくり等に関する取組

(1) 育てたい資質・能力

異年齢集団活動や地域の教育資源を活用した活動を通して、他者と協働する力を育成するとともに、たくましい心や宇都宮や岡本地区を愛する心を涵養する。

(2) 具体的取組（提案型予算「頑張る学校プロジェクト」に関する取組には文頭に◇）

◇なかよし班（縦割り班）活動や上学年と下学年のペア（6年と1年，5年と2年，4年と3年）の異学年交流会の実施

- ・地域の教育資源（人材や施設など）を活用した校外学習や出前授業の実施（1・2年生活科，3・4年社会科，5・6年総合的な学習の時間など）

8 本市の重点施策・事業との関連

(1) 地域とともにある学校づくり（「魅力ある学校づくり地域協議会」との連携・協働を含む）

①基本的考え

魅力ある学校づくり地域協議会を核とした教育活動支援の円滑な実施により，児童が体験を通して学ぶ機会を充実させるとともに，宇都宮学の基盤となる地域に対する愛着を深める。

②主な取組

- ・地域の人材を活用した教育活動（読み聞かせ・授業ボランティア）の実施
- ・地域の教育資源（人材や施設など）を活用した校外学習や出前授業（1・2年生活科，3・4年社会科，5・6年総合的な学習の時間など）の実施
- ・PTAや地域自治会と合同で実施する親子奉仕活動や環境整備の実施

(2) 小中一貫教育・地域学校園

①基本的考え

「すこやかに学ぶ子供像」を設定するとともに，対話的な学びを通して，自分の思いや考えを伝えることができる児童を育成する。

②主な取組

- ・学習態度の育成と学習習慣の定着化
- ・1人1台端末などICT機器の効果的な活用
- ・対話的な学びに向けた授業の改善

(3) 不登校対策

①基本的考え

安心して過ごせる学級や居場所づくりに努めるとともに，不登校の未然防止や不登校児童の個々の状況に応じた支援の充実に努める。

②主な取組

- ・Q-Uの結果や個別の教育相談等を活用した児童理解
- ・全職員による児童の情報や対応方針の共有など，チーム岡本としての組織的・計画的な支援
- ・1人1台端末を活用した支援や別室登校支援の一層の充実

(4) G I G Aスクール構想

①基本的考え

日常的な1人1台端末の効果的な活用の充実に努めるとともに、情報モラル/デジタル・シティズンシップ教育の推進に努める。

②主な取組

- ・スクールタクトやA Iドリルの活用の推進
- ・I C T支援員との効果的な連携
- ・「授業事例集」や「G I G AスクールN e w s」の活用

(5) 宇都宮学

①基本的考え

「宇都宮学」に関連した施設や地域の教育資源を活用した体験的な学習を通して、郷土への愛情と誇りを育む。

②主な取組

- ・社会科副読本や宇都宮学副読本の活用
- ・市内や地域の施設めぐりなどの校外学習の実施
- ・ふくべ細工や郷土料理を取り入れた給食などの体験活動の実施